

## 2016年度 事業計画

2016年度は、定款にしたがって以下の事業をおこなう。

### 1. 創立100周年に向けての俯瞰的行動目標の検討

### 2. 学会誌および学術図書の発行

- (1) 生物工学誌（第94巻第4号～第95巻第3号まで12冊）を刊行
- (2) Journal of Bioscience and Bioengineering( Vol.121 No.4 ～ Vol.123 No.3まで12冊 )を刊行
- (3) 2016年度大会講演要旨集を刊行

### 3. 学術講演会およびシンポジウムなどの開催

- (1) 2016年度日本生物工学会大会
- (2) SBJシンポジウム 2016
- (3) 生物工学懇話会

### 4. 研究の奨励および研究業績の表彰

- (1) 研究部会活動の更なる活発化
- (2) 生物工学若手研究者の集いへの支援
- (3) 生物工学賞、生物工学功績賞、生物工学功労賞、生物工学奨励賞(江田賞、斉藤賞、照井賞)、生物工学技術賞、生物工学論文賞、生物工学アジア若手賞、生物工学アジア若手研究奨励賞および生物工学学生優秀賞(飛翔賞)の授与

### 5. 学会活動の充実・強化

- (1) 支部と連携・一体化した運営と事業活動
- (2) 基金(産学連携基金等)の活用
- (3) 各種公的資金制度への積極的な課題提案
- (4) 産学連携の推進
  - 1) 産学連携シンポジウムの開催
  - 2) 賛助会員、出展企業との交流促進
    - ① 展示参加企業の集い(年次大会)
    - ② 賛助会員の集い(関西支部醗酵学懇話会、東日本支部新年賀詞交換会)
  - 3) 産学の人材教育と育成
    - ① 生物工学産学技術研究会(産業界のものづくり(実用化・商品化)技術の紹介(大学の若手研究者・学生を主な対象))の実施
    - ② 生物工学基礎教育セミナー(大学教員による産業界の若手研究者・技術者の基礎教育)の実施
- (5) 社会貢献の推進
  - 1) 市町村レベルの環境問題行政への協力
  - 2) バイオテクノロジーの一般市民への普及活動強化
    - ① 市民フォーラム・講習会の開催
    - ② 中高校生を対象とした実験講座の開催
- (6) 事業活動の積極的な広報と広報活動を通じた寄附意識の醸成
- (7) 生物工学会誌の会員および社会のニーズに即した内容充実
- (8) ITを活用した会員への情報発信の強化
  - 1) 会員管理システムの充実
  - 2) 学会HPのさらなる整備・充実
    - ① 電子ジャーナルの充実
    - ② WEBを利用した会員サービスの向上
  - 3) 年大会参加登録システムの充実
- (9) 国際交流、国際展開の推進
  - 1) 生物工学アジア若手賞および生物工学アジア若手研究奨励賞の授与

- 2) 韓国KSBBとの交流促進
  - 3) アジア各国を初めとする諸外国研究者、研究団体との交流
  - 4) 海外会員増加方策の検討
  - 5) SBJシンポジウムの一部セッションを国際シンポジウムとして企画
  - 6) 国際展開委員会と国際展開戦略特別部会の連携による国際交流促進
- (10) JABEE(日本技術者教育認定機構)活動との密接な連携
- 1) 学会内対応組織の拡充・強化
  - 2) 「生物工学および生物工学関連分野」の審査の実施
  - 3) JABEE事業に対する啓発活動
  - 4) アジアにおける技術者教育認定活動現状の把握
- (11) 生物工学会誌への投稿依頼を通じた、シニア会員の学会運営への意見反映
- (12) 若手および女性会員の学会運営への参画の促進
- 1) 生物工学若手研究者の集い(若手会)への積極的支援
  - 2) 若手および女性会員の学会活動への積極的登用(理事補佐制度を含む)
- (13) 理事会運営、事務局運営の効率化・合理化に関する検討

## 6. 関連学協会との連携および協力

- (1) 国内関連学協会との交流
- (2) 横幹連合(横断型基幹科学技術研究団体連合)の活動に対する協力
- (3) 日本微生物学連盟の活動に対する協力
- (4) Asian Federation of Biotechnology(AFOB)の活動に対する協力